

ART300GA

表象文化演習―場所論―

岡村 民夫

配当年次／単位：3～4年／4単位

旧科目名：

旧科目との重複履修：

毎年・隔年：毎年開講 | 開講セメスター：春・秋

人数制限・選抜・抽選：選抜

他学部への公開：×

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

「場所」とは、私たちの文化を文字通り足下から支える基盤である。文化の観点から場所を研究するとともに、文化を「場所」の観点から見なおす。

春学期の主題として、これまでに「建築」「風景」「旅行」「東京」「歩行」「都市」「観光」「庭園」「ジブリ」などを取り上げてきた。今年度は「都市の映像」を春学期の主題とする。

【到達目標】

文化と場所の相関性に関して、知識をつけるだけでなく、作品鑑賞やフィールドワーク（とミニレポート）を通して、作品分析力、感受性、想像力を、体験的・実践的に養うことを目指す。またゼミの諸活動を通じて、調査力、発表力、コミュニケーション力、責任感を身につける。

【授業の進め方と方法】

春学期は、主として都市を表現した写真・映画についてグループ発表とディスカッションを行う。

秋学期前半は、4年生による研究発表、秋学期後半は3年生による研究発表（秋学期末レポート予備発表）を行う。秋学期の発表・レポート・卒論の主題は、場所に関する表象文化の研究であれば「都市の映像」以外の主題でも、また映像制作でも構わない。

年間を通じ、合間に適宜フィールドワークや展覧会見学を実践する。なお夏休みには、3年生の意見を尊重した夏合宿をする予定である。

【授業計画】

春学期

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	自己紹介。 一年間の計画の説明。 「都市の映像」に関する概説。 春学期のグループ発表の計画。
2	都市の映像に関する講義	前期発表の見本として教員が都市の映像の一例を講義する。
3	江戸東京博物館見学	江戸東京博物館の常設展を見学。 江戸・東京の歴史を概観する。
4	第1回グループ発表 -アジェのパリ写真 -アボットのアメリカ写真	発表とそれをめぐる全員での討議。
5	第2回グループ発表 -ラング『メトロポリス』 -押井守『パトレイバー2』	発表とそれをめぐる全員での討議。
6	第3回グループ発表 -カルチエ＝ブレッソンの写真 -クレール『眠るパリ』	法政から近い東京の一角を歩き、ミニレポートを作成する。
7	森美術館見学	「建築の日本展」を見学し、六本木ヒルズをフィールドワーク。
8	第4回グループ発表 -タチ『僕の伯父さん』 -中村正貴『東京窓景』	発表とそれをめぐる全員での討議。
9	第5回グループ発表 -ゴダール『勝手にしやがれ』 -ホウ・シャオシェン『珈琲時光』	発表とそれをめぐる全員での討議。

10	第6回グループ発表 -黒澤『天国と地獄』 -宮崎『コクリコ坂から』	法政から近い東京の一角を歩き、ミニレポートを作成する。
11	東京フィルムセンター常設展見学	常設展を見学し、日本映画史を概観する。
12	第7回グループ発表 -ゲリン『シルヴィアのいる街で』 -ヴェンダース『ベルリン 天使の詩』	発表とそれをめぐる全員での討議。
13	第8回グループ発表 -黒沢『叫び』 教員講義	発表とそれをめぐる全員での討議。 前期レポートに関するレクチャー
14	教員講義	春学期の補習。 3年は春学期やった主題に関するレポートを提出。 4年は自由研究レポートを提出。

秋学期

回	テーマ	内容
1	秋学期ガイダンス	新ゼミ長ほかの挨拶。 秋学期の計画。 春学期レポートについてのコメント。教員による場所論レクチャー。
2	第1回個人研究発表	4年生による研究発表。
3	第2回個人研究発表	4年生による研究発表
4	フィールドワーク	法政から近い東京の一角を歩き、ミニレポートを作成する。
5	第3回個人研究発表	4年生による研究発表。
6	第4回個人研究発表	4年生による研究発表。
7	第5回個人研究発表	4年生による研究発表。
8	第6回個人研究発表	3年生による個人研究発表。
9	フィールドワーク	法政から近い東京の一角を歩き、ミニレポートを作成する。
10	第7回個人研究発表	3年生による個人研究発表。
11	国際文化情報学会準備	国際文化情報学会の展示物の作成等。
12	第8回個人研究発表	3年生による個人研究発表。
13	フィールドワーク	3年生の研究レポート提出 法政から近い東京の一角を歩き、ミニレポートを作成する。
14	フィールドワーク	4年生の卒業研究提出。 法政から近い東京の一角を歩き、ミニレポートを作成する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

発表や研究に関する文献調査やフィールドワークや作品鑑賞。  
ゼミ生と相談のうえ夏期合宿を行う。  
ゼミ生と相談のうえ国際文化情報学会で研究発表をする。

【テキスト（教科書）】

授業中にプリントを配布する

【参考書】

五十嵐太郎『映画的建築／建築的映画』春秋社  
高橋世織『映画と写真は都市をどう描いたか』ウェッジ

【成績評価の方法と基準】

ゼミ参加度（50%）と期末レポート（50%）を総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】

学生の議論をより活発にする。メリハリをつける。

【学生が準備すべき機器他】

前期発表に関して事前に関連DVD（岡村研究室所蔵）をよく観ること。デッキの鍵を借用・返却をしっかりとすること。

【その他の重要事項】

書籍を買ったり、美術館へ行ったり、映画鑑賞をしたり、街歩きや旅行をしたりする好奇心と体力と余裕があること。ゼミのメンバーと協力しあい、責任を分担すること。